

## 令和2年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生推進交付金)一覧

事業名(推進交付金)		申請形態	交付決定額(円)	実績額(円)	江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置付け
①	学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【継続事業:1年目】	広域	1,526,000  (江別市分)	1,411,900	基本目標① しごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす 基本目標② えべつの新しい人の流れをつくる
②	観光振興計画推進事業 【継続事業:2年目】	単独	4,279,000	3,587,615	基本目標① しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
③	えべつ食のブランド海外展開促進事業 【継続事業:1年目】	単独	855,000	747,750	基本目標① しごとをつくり、安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす
④	若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【継続事業:1年目】	単独	4,890,000	4,884,000	基本目標② えべつの新しい人の流れをつくる
⑤	江別市就労支援プログラム事業(江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援～)(介護人材養成支援事業) 【継続事業:1年目】	単独	16,840,000	16,680,559	基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる
⑥	江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業:2年目】	単独	6,506,000	5,814,517	基本目標④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしと健康を守るとともに、地域と地域を連携する
合 計		-	34,896,000	33,126,341	-

令和2年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生推進交付金)実績

学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(1年目)									
1年目は、2年目からの移住体験型インターンシップの本格実施に向けた準備と、課題洗い出しのための試行を実施する。また、現地企業訪問説明会についても、1年目は試行とし(連携8自治体中)2自治体程度で実施する中で、参加人数、参加者アンケート、参加企業の採用状況等のデータを検証し、地元企業との協議をとおして、翌年に向けた学生に対して訴求力が高いプログラムの確立を目指す。また、2年目からの起業セミナー開催に向け、講師の選定と内容の検討を開始する。	1,526,000	1,411,900	プログラムに参加した学生で連携自治体に、就職や定住した人数	8人	【令和2年度】 2人 【累計】 10人	-	-	33人 【累計】	1年目は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当市も含めた連携市町村内でのイベントの中止、学校の課外活動の制限により、ほとんどのプログラムを実施できず、学生への募集活動が出来ない結果となった。こういったこと踏まえ2年目は、個室の宿泊先の活用、短時間での実施等により感染症拡大防止に留意し、状況に応じたオンラインでの活動の導入を検討する。また、地域企業訪問説明会についても、感染症拡大防止に留意し、オンラインでの実施も検討する。更に、起業を志す学生を対象にセミナーを実施し、3年目に向けて起業支援コーディネーターを配置した学生起業家支援の方策についての検討を開始する。
			地域企業訪問説明会プログラム受け入れ企業数	0社	【令和2年度】 10社 【累計】 10社	-	-	30社 【累計】	
			移住体験型インターンシップ等への参加人数	0人	【令和2年度】 0人 【累計】 0人	-	-	45人 【累計】	
			プログラムに参加した学生で起業した件数	1件	【令和2年度】 0件 【累計】 1件	-	-	3件 【累計】	

観光振興計画推進事業 【継続事業:2年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	令和3年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(2年目)									
1年目に関係団体等と検討を行った観光推進体制について、2年目は有識者会議を行い、組織の立ち上げ、具体的な取組について検討する。 具体的には、観光推進体制の中心的団体となる観光協会の強化を図り、江別の魅力を詰め込んだ特産品開発に向けた検討や市内イベントの検証、磨き上げなどに取り組む。また、継続して日帰り周遊観光の推進やSNS等を活用した情報発信の強化、ロケ誘致を進めるほか、観光セミナーの開催による観光人材の育成を行う。	4,279,000	3,587,615	観光入込客数	915,337人	1,190,090人	1,361,201人	-	996,337人	令和3年度は、未だコロナ禍の影響が見通せない中ではあるが、今後のアフターコロナでの観光入込客数等増加を目的として、観光推進体制の強化を図る。 具体的には、観光推進体制の中心的団体となる観光協会の法人化に取り組むとともに、その過程で事業者等を巻き込んだワークショップの実施によって行政・事業者・市民が主体的に観光に関わっていく土壌づくりを行う。 また、withコロナでも実施可能な市内周遊策として、観光用レンタサイクル事業を試行するとともに、既存の市内周遊事業のリニューアルを図る。産業連携新商品開発についても事業者への丁寧なヒアリングを行い商品化を進める。
			グリーンツーリズム関連施設の利用者数	580,762人	596,862人	545,905人	-	691,762人	
			産業連携新商品開発支援数	0件	【令和元年度】 2件 【累計】 2件	【令和2年度】 0件 【累計】 2件	-	3件 【累計】	



えべつ食のブランド海外展開促進事業 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(1年目)									
1年目は、海外への販路開拓を目指す企業の取組を支援し、地域外からの稼ぐ力を高めるため、海外で食品試食・販売等や現地での企業との商談、海外からのバイヤー等を招聘した商談会を開催するとともに、企業自らが海外への販路拡大に向けたサンプル品の送付などの取り組みに係る経費を支援する。さらに、市内大学に通う留学生など外国人の視点でPR冊子を作成し江別の魅力を海外に向けて広く情報発信する。	855,000	747,750	食品の輸出額	2.5億円	【令和2年度】 1.4億円 【累計】 1.4億円	-	-	3.0億円 【累計】	世界的な新型コロナウイルス感染拡大による影響により、輸出先国の大幅な需要減や渡航ができないことによる商談機会が逸失し、食品の輸出額が大幅減となった。 令和3年度においても厳しい状況が続くが、渡航によるフェアや商談ができない代わりに、市内企業には複数回のフェア参加や複数国・地域のバイヤーとのオンライン商談会の機会を提供するなど、創意工夫により事業目的を達するよう取り組んで行く。 特に、新たに海外フェアや商談会に参加する企業の掘り起しに一層の力を入れ、コロナ後に大きな成果が出るよう、輸出に取り組む市内企業の裾野拡大を図る。
			海外フェア・海外バイヤー招聘事業の参加企業等数	4社	【令和2年度】 4社 【累計】 8社	-	-	12社 【累計】	
			ワークショップ(招聘した海外バイヤーの意見を参考にした)の参加企業等数	0社	【令和2年度】 0社 【累計】 0社	-	-	15社 【累計】	

若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(1年目)									
初年度は、事業を進める体制整備の年と位置付け、事業の実施に向けての事務局の立ち上げ・市内大学生を対象とした意識調査を実施する。まず、詳細な現状把握に向け、市内4大学の学生を対象に江別に対する認知度やイメージ、江別への愛着心などをアンケート調査等により把握する。また、学生に対して事業の存在を認知してもらう必要があることから、事業のシンボルとして一目で事業を認識してもらう統一ロゴやポスター等を作成する。また、各大学に依頼し江別PRブースを設置するとともに、地域交流会は2年目からの本格開催に向けて、試験的に開催し内容や効果、改善すべき課題の洗い出し作業を行う。また、交流会参加者にもえべつファン登録を依頼し登録者数の拡大を図る。	4,890,000	4,884,000	市内大学卒業生(えべつファン登録者)のうち江別市で地域活動や副業兼業を行った人数	0人	【令和2年度】 0人 【累計】 0人			150人 【累計】	令和2年度に予定をしていたスマホアプリの開発が、当初の想定よりも遅れたことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、大学構内での周知活動が制限されたこと等により、KPIの1つである「在学中の市内大学生のえべつファン登録者数」が伸び悩んだ。 令和3年度は、スマホアプリを周知し、在学生等にインストールしてもらうことが重要になってくると考えている。周知に関しては、コロナ禍ということもあり方法は限られてしまうが、他の事業との連携や、江別PRブース等を活用し、積極的に行っていきたいと考えている。 また、今年度は、バスツアー等も実施することになっている。新型コロナウイルス感染症により活動に制限が出てしまっているが、工夫をしながら実施していく予定である。
			在学中の市内大学生のえべつファン登録者数(交付対象事業でターゲットとする関係人口)	0人	【令和2年度】 10人 【累計】 10人			900人 【累計】	
			地域交流会、江別認知度向上バスツアー、東京江別会(市内大学卒業生)参加者数	0人	【令和2年度】 11人 【累計】 11人			150人 【累計】	
			大学内江別PRブースでの情報発信点数	0点	【令和2年度】 162点 【累計】 162点			500点 【累計】	



江別市就労支援プログラム事業(江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援～) (介護人材養成支援事業) 【継続事業:1年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和4年度実績値	令和4年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(1年目)									
就労拠点施設を設置し、ターゲット層である女性・シニアを中心とした研修や市内企業とのマッチング等を実施する。初年度は、利用者や参加企業を増やすために、ターゲット層にあったSNSを活用した周知や、購読率の高い地域情報誌等を活用した事業周知を行うほか、市内企業にも積極的な参加を促すため、商工会議所やハローワークと連携して、事業周知を図っていく。また、介護人材養成については、ノウハウを持つ人材派遣会社に委託することにより、介護未経験のアクティブシニア等をターゲットとして新たな介護人材の発掘、更に初任者研修による資格取得、及び介護事業所とのマッチングによる就労支援を行い、介護事業者に人材養成に関する意識を高めてもらう。加えて、介護人材ネットワークにより、市と介護事業者との介護人材に関する連携を確立する。	16,840,000	16,680,559	就業できた人数 (ハローワークやシルバー人材センターなどへ繋ぎ最終的に市内に就業する機会を得た人及び本事業により市内介護事業所に就職した人数)	45人	【令和2年度】 159人 【累計】 159人	-	-	103人 【累計】	事業は堅調に推移しているため、引き続き市内企業の利用率の向上を図るとともに、女性やシニア層を中心に、就職に向けた研修や相談等を繰り返すことにより、参加者を増やし、より多くの人を市内企業へ定着するよう取り組む。 介護分野においては、令和2年度は、事業対象とする定員を上回る介護人材を発掘し、入職研修及び短期雇用による研修受講や職場実習などの人材養成を行い、介護事業所とのマッチングによる就労支援を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、市内介護事業所に就職したのは2人という結果であった。 令和3年度は、就職に至らなかった者への支援を継続するとともに、前年度の定員を増員した人材養成を実施し、より多くの介護事業所に介護人材を供給するとともに、介護事業者には人材養成の意識をより一層高めてもらう。
			参加企業数(年度内に施設を利用又は、個別相談対応した企業数)	30社	【令和2年度】 54社 【累計】 54社	-	-	60社 【累計】	

江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業:2年目】	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前 (申請時)	重要業績評価指標 (KPI) 令和元年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和2年度実績値	重要業績評価指標 (KPI) 令和3年度実績値	令和3年度 目標値	実績値を踏まえた 令和3年度の取組方針について
令和2年度事業内容等(2年目)									
生涯活躍のまち形成事業計画を踏まえ、令和2年度の施設等入所に備えた展開を図っていく。具体的にはコーディネーターを配置し「生涯活躍のまち」のサービス全般の管理、調整、入居希望者の相談等や住み替え支援を実施するとともに、地域住民及び若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現するための、市民説明会等を実施する。また、市民や市外の方にPR(パンフレット・ポスター等を作成)し、江別版生涯活躍のまちを知ってもらえる取組みも併せて展開していく。	6,506,000	5,814,517	拠点エリアにおける居住者・入所者数 (サービス付き高齢者向け住宅、介護保険施設、障がい者グループホーム)	0人	0人	0人	-	243人 【累計】	新型コロナウイルス感染症の影響等による施設の竣工遅延により、令和2年度中の居住、入所、雇用に至らなかったため、KPIの実績は0となった。 令和3年度は、2年目で構築された仕組みやコーディネーターのノウハウを活用し、施設入居者や施設利用者の増加を図るとともに、イベント等を通じて自治会や地域住民との関わりを持つことで、より地域に賑わいをもたらす。また、アクティブシニアや障がい者に対して、施設内での就労の機会を確保することで住む人々が生涯にわたって地域の中で活躍できるまちづくりを展開し、市内全域への波及効果を目指す。
			拠点エリアにおける雇用人数	0人	0人	0人	-	165人 【累計】	
			拠点エリアで受け入れたボランティア人数(延べ)	0人	0人	0人	-	50人 【累計】	
			健康増進プログラムに参加した人数	0人	0人	0人	-	50人 【累計】	

令和2年度 江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業(地方創生拠点整備交付金)実績一覧

EverydayEBRI～物販等施設整備事業	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前(申請時)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	令和2年度目標値	実績値を踏まえた令和3年度の取組方針について
平成29年度事業内容及び整備内容					平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値		
物販飲食施設兼備品収納庫の整備工事 物販飲食施設(電源設備整備含む)を整備し、また整備に伴う雨水処理対策工事等も併せて実施。また、備品収納庫を整備したほか、多くの利用者が安心してEBRIを楽しんでもらえるよう駐車場等(安全対策)の整備を行う。	39,125,000	34,261,250	EBRI観光消費額	430,217千円	524,966千円	395,696千円	494,869千円	458,993千円	657,389千円	—
			EBRI入込客数	244,680人	315,607人	227,233人	246,077人	200,580人	373,880人	
			主要観光入込客数(EBRI入込客数除く)	170,872人	174,498人	186,318人	194,451人	189,019人	261,272人	

江別市都市と農村の交流センター多目的ホール整備事業	交付決定額(円)	実績額(円)	事業KPI	事業開始前(申請時)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	重要業績評価指標(KPI)	令和2年度目標値	実績値を踏まえた令和3年度の取組方針について
平成29年度事業内容及び整備内容					平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値		
多目的ホール等の整備工事 ・廃校体育館の外装・内装を整備し、利活用できるよう整備 ・農業者や企業等がテストキッチンを利用して開発した商品の試食会の実施や食育の場として利用するほか、交流の場として幅の広い活用をめざす。また、老朽化により使用できない照明・音響について整備し、天候等の影響を受けない事業の実施を可能とし、さらに食育の体験学習等を同時に行えるよう間仕切りのできる整備を実施。	24,811,000	21,918,400	6次産業化による新商品開発	0件	【平成28年度】 3件 【平成29年度】 3件 【累計】 6件	【平成30年度】 2件 【累計】 8件	【令和元年度】 2件 【累計】 10件	【令和2年度】 2件 【累計】 12件	12件 【累計】	—
			都市と農村の交流センター利用者数	0人	31,840人	23,595人	26,718人	13,802人	19,600人	